



学校だより  
第11号

# 野 菊

福島市立吉井田小学校 令和3年7月8日発行



## 七夕に思いを馳せながら、文月！



七夕飾りが、今年も昇降口前に掲示してあります。全児童の願いがそこにあります。書かれている願いをいくつか紹介すると・・・。

- ☆ でんせつの自えいたいになれますように。
- ☆ プロサッカー選手になってワールドカップで優勝したい！
- ☆ コロナがなくなり、かそくでりょこうに行けますように！  
なかには、英語で
- ☆ i wish to be a can speak engrish  
そして、〇〇先生は、
- ☆ 美味しいものを はやくみんなで食べに行けますように。  
様々なものがあり、見ているだけでほっこりです。ご来校の際はぜひご覧ください。

7月も第2週に入りました。早いものです。7月は、文月（ふづき、ふみつき）とも呼ばれています。文月の由来は、7月7日の七夕に詩歌を献じたり、書物を夜風に曝す風習があるからというのが定説となっています。しかし、七夕の行事は奈良時代に中国から伝わったもので、もともと日本にはないものです。そこで、稲の穂が含む月であることから「含み月」「穂含み月」の意であるとする説もあります。また、「秋初月（あきはづき）」、「七夜月（ななよづき）」ともいわれることもあるそうです。（ウィキペディアより。）

いろいろな説があるにしろ、私は、この七月は、七夕の月だと思っています。天の川に輝く琴座と鷲座の出会いに思いを馳せながら、私も

短冊に願いをしたためたいと思います。

さて、みなさんの願いは何ですか？

**私**の願いは、第1が「吉井田小の子どもたちの健康と元気！」第2が「新型コロナ退散」、第3が昨年に引き続き「マイナス5Kg！ポッコリおなか解消！」この2つです。

追伸) 報告です。子供たちの中で7月4日にその願いがかなった人がいます。次号で紹介します。楽しみに！

## トピックス

# 七夕の日に思う 「科学」とは？

七夕献立（7月7日）の日に、検食をしながら、一人校長室で思い巡らしたことです。

織り姫と彦星は、無事に逢えるのでしょうか。天の川に輝く琴座のベガが織姫で、鷲座のアルタイルが彦星。さらに、白鳥座のデネブを結べば「夏の大三角形」。7月7日の宵は、その織姫と彦星の年に一度の逢瀬の日。さて・・・。

### 〈七夕献立〉

- ・麦ごはん
- ・わかめのおひたし
- ・七夕汁
- ・ささかま磯辺揚げ
- ・七夕ゼリー
- ・牛乳

☐中の天気は、あいにくの曇り空でしたが、夜も天気予報では雨。でも、「奇跡が起きて晴れてほしい？」と強く念じながら七夕献立をおいしくいただくとしていました。最初に「七夕汁」に目をやると、なんと星がまたたいているではありませんか。そこには、星形のオクラ。思わずシャッターを押してしまいました。

**織**姫と彦星も、今年も多くの星に見守られながら逢えるといいな。そんな優しい気持ちで、七夕のことをインターネットで七夕のことをちょっと調べると、こんな記事が掲載されていました。

## おり姫星と彦星の距離は

おり姫星のベガと彦星のアルタイルは、およそ16光年離れています。光速で走っても二人が会えるのは、16年後・・・

※「光速」は光の速さ。秒速にすると30万キロ。1秒間に地球を7周半するスピードです。「1光年」は、光速で1年間進み続けて到達できる距離です。

と、書いてあるではありませんか。

**科**学は、浪漫を許さないのでしょうか？

私は、年に一度の逢瀬を後押ししていたのに、二人が会えるのは、オリンピックでも4年毎なのに16年後とは。ただ、私は、実際に逢えるのは16年後かもしれませんが、気持ちのうえでは「毎年逢ってる」ことを固く信じています。

そんなことを、思いながら、職員室で食べている先生方に「この思い」を伝えようとしたのですが、みなさんは、七夕の思い出や給食室の先生方への感謝の気持ちを話しているようなので、無粋がいやで話すのはやめました。

もちろん、七夕献立は、とってもおいしかったです。



〈七夕こんだて〉